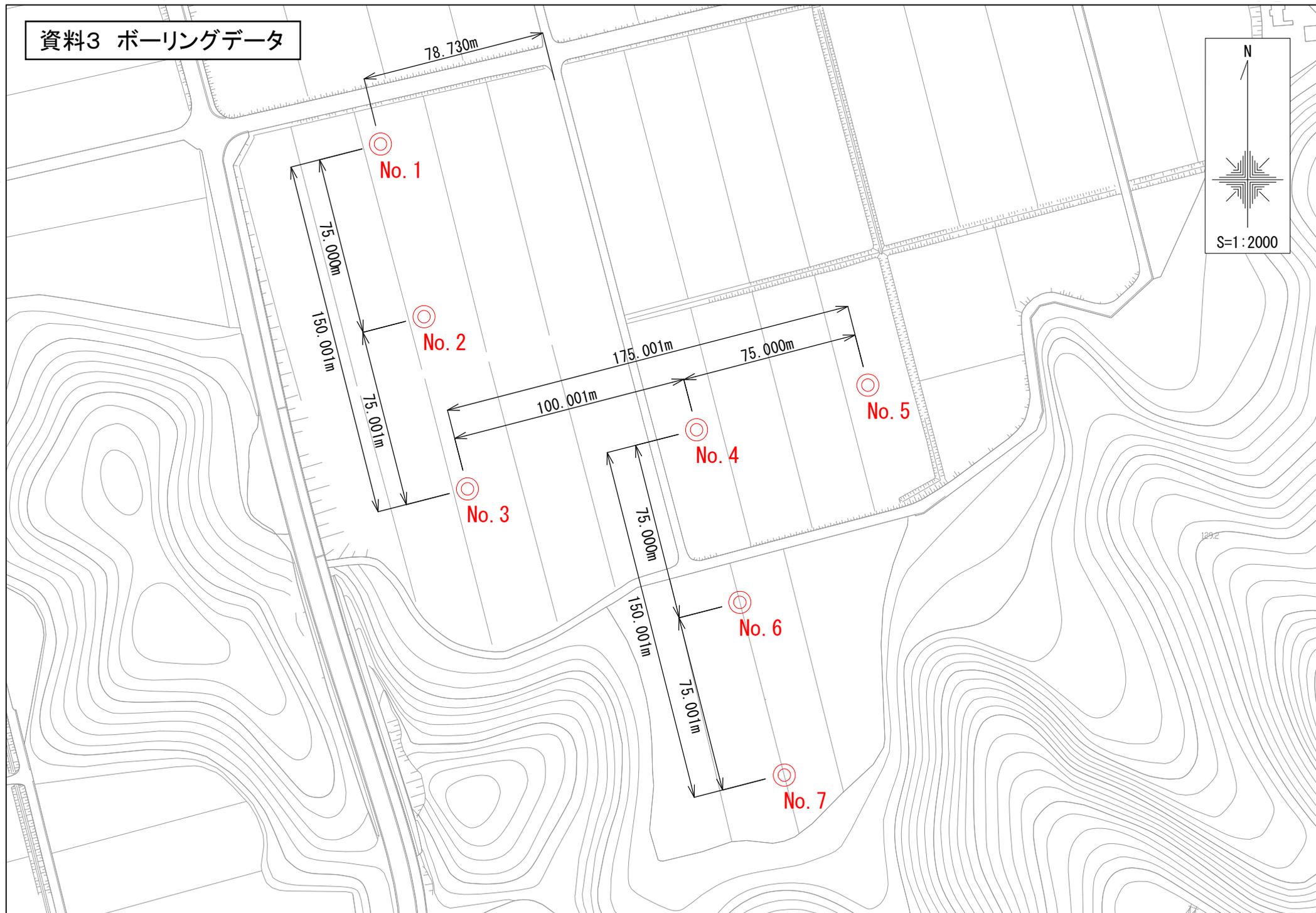


資料3 ボーリングデータ



湖北広域行政事務センター新施設整備事業

ボーリング柱状図

ボーリング柱状図

調査名 平成29年度 第231号 湖北広域行政事務センター

ボーリングNo

事業・工事名 新施設整備事業土質調査業務委託

シートNo

ボーリング名	No. 2		調査位置	滋賀県長浜市木尾町 地内			北緯	35° 26' 34.23"								
発注機関	湖北広域行政事務センター			調査期間	平成29年11月20日～29年11月24日			東経	136° 18' 1.00"							
調査業者名	日本水工設計株式会社滋賀事務所		主任技師	現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者									
孔口標高	103.78m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 270° 西 東 90° 180° 南		地盤勾配	鉛直 水平0°		使用機種	東邦製 D0-DR		ハンマー落下用具	半自動モンケン	
総掘進長	26.00m	度	0°		向			エンジン	ヤンマー製 TF90V-E		ポンプ	東邦製 BG-3CR				

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験						原位置試験	試料採取		室内試験 (月日)	掘進					
											深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値	深 (m)	試験名および結果		深 (m)	採取方法							
											0	10	20	30	40	50	60									
103.18	0.60	0.60	103.18	粘土	褐灰				含水多い。非常に軟質な均質粘土。	11/20																
100.98	2.20	2.80	100.98	シルト質砂礫	暗灰			中位	含水非常に多い。最上部はシルト多く含み、下部ほど少なくなる。 φ2~20mmの角礫及び細~中砂主体。最大φ40mm。	11/20	1.15	4	4	4	12	30										
100.58	0.40	3.20	100.58	腐植土	暗褐				含水多い。繊維質多く残る。	11/20	2.15	5	5	4	14	30			2.15	2-P-1	物理			11/20		
97.98	2.60	5.80	97.98	砂礫	暗灰			中位	含水非常に多い。φ2~25mmの角礫及び細~粗砂より構成。弱く粘土分含む。所々でφ70mm前後の礫を混在。	11/20	3.50	4	4	2	10	30										
97.43	0.55	6.35	97.43	腐植土混じり粘土	暗灰			軟らかい	含水中位。粘性中位。全体に腐植土層を薄層で挟む。	11/20	4.15	4	5	6	15	30										
94.98	2.45	8.80	94.98	腐植土	暗褐			軟らかい~中位の	含水中位~やや多い。粘性、腐植土区間は弱い、粘土区間は強い。指圧により水分がにじみ出る。全体に繊維質多く残る。部分的に軟質な粘土優勢部を含む。	11/20	5.15	8	5	3	16	30										
91.48	3.50	12.30	91.48	粘土	暗青灰~暗茶灰			中位~非常に軟らかい~中位の	含水中位。粘性中位~強い。概ね均質だが、全体的に有機物が点在する。最下部では細礫を多く含む。試料は軟質で指圧にて容易に変形。GL-11.0~11.05m間、含水非常に多い砂礫を挟む。	11/20	6.15	1	2	1	4	30			6.15	2-P-2	物理					
90.88	0.60	12.90	90.88	粘土質砂礫	暗灰			中位の	含水中位。φ2~20mm角礫及び細~中砂主体。若干腐植土挟む。	11/20	6.45	1	2	1	4	30			6.35	2-P-2	物理					
90.18	0.70	13.60	90.18	粘土	灰			中位の	含水やや多い。粘性弱い。不規則に腐植土や礫を混入。	11/20	7.15	1	2	1	4	30			7.50	2-T-1	物理力学					
85.78	4.40	18.00	85.78	粘土質砂礫	暗青灰			緩い~中位の	含水やや多い。下部は少位。全体に粘性土分を多く含む細~中砂及びφ2~10mm以下の角礫主体。GL-15.0~15.5m間でφ30mmの亜円礫混入。所々で粘土優勢の軟質箇所がブロック状で分布。	11/20	8.65	2	3	2	7	30			7.90	2-T-1	物理力学					
83.58	2.20	20.20	83.58	砂岩強風化帯	暗青灰				含水少位。岩石組織不明瞭。全体に風化著しく、試料は指圧にて粘土混じり砂状となる。風化礫も多く含む。	11/20	8.95	1	1	1	3	30			9.60	2-T-2	物理力学					
80.78	2.80	23.00	80.78	砂岩風化帯	茶褐				岩石組織比較的明瞭に残す。試料は指圧にて崩せる風化礫主体で、粘土混じり砂礫状となる。GL-22.0m付近、粘土化がやや進行し脆弱。	11/20	10.50	2	1	2	5	30			10.28	2-T-2	物理力学					
77.78	3.00	26.00	77.78	砂岩	茶褐				上部は風化進行し砂礫状を呈するが、中~下部は硬質礫~岩片状を呈する。特にGL-25.0m以深は、長さ20cm程度の棒状にてコアを採取。	11/20	10.83	2	1	2	5	30			12.30	2-P-3	物理					
										11/20	11.15	1	1	1	2	35			12.45	2-P-4	物理					
										11/20	11.50	2	3	5	10	30			13.15	2-P-4	物理					
										11/20	12.15	2	3	5	10	30			13.45	2-P-4	物理					
										11/20	14.15	3	3	4	10	30			14.45	2-P-5	物理					
										11/20	15.15	2	3	2	7	30			16.15	2-P-5	物理					
										11/20	16.15	3	2	3	8	30			16.45	2-P-5	物理					
										11/20	17.15	3	4	4	11	30			17.45							
										11/20	18.15	5	7	9	21	30			18.45							
										11/20	19.15	4	4	5	13	30			19.45							
										11/20	20.15	7	9	11	27	30			20.45							
										11/20	21.15	9	13	16	38	30			21.45							
										11/20	22.15	9	7	10	26	30			22.45							
										11/20	23.00	60			60				23.07							
										11/20	24.00	貫入不能			60				24.00							
										11/20	25.00	貫入不能			60				25.00							
										11/20	26.00	貫入不能			60				26.00							

ボーリング柱状図

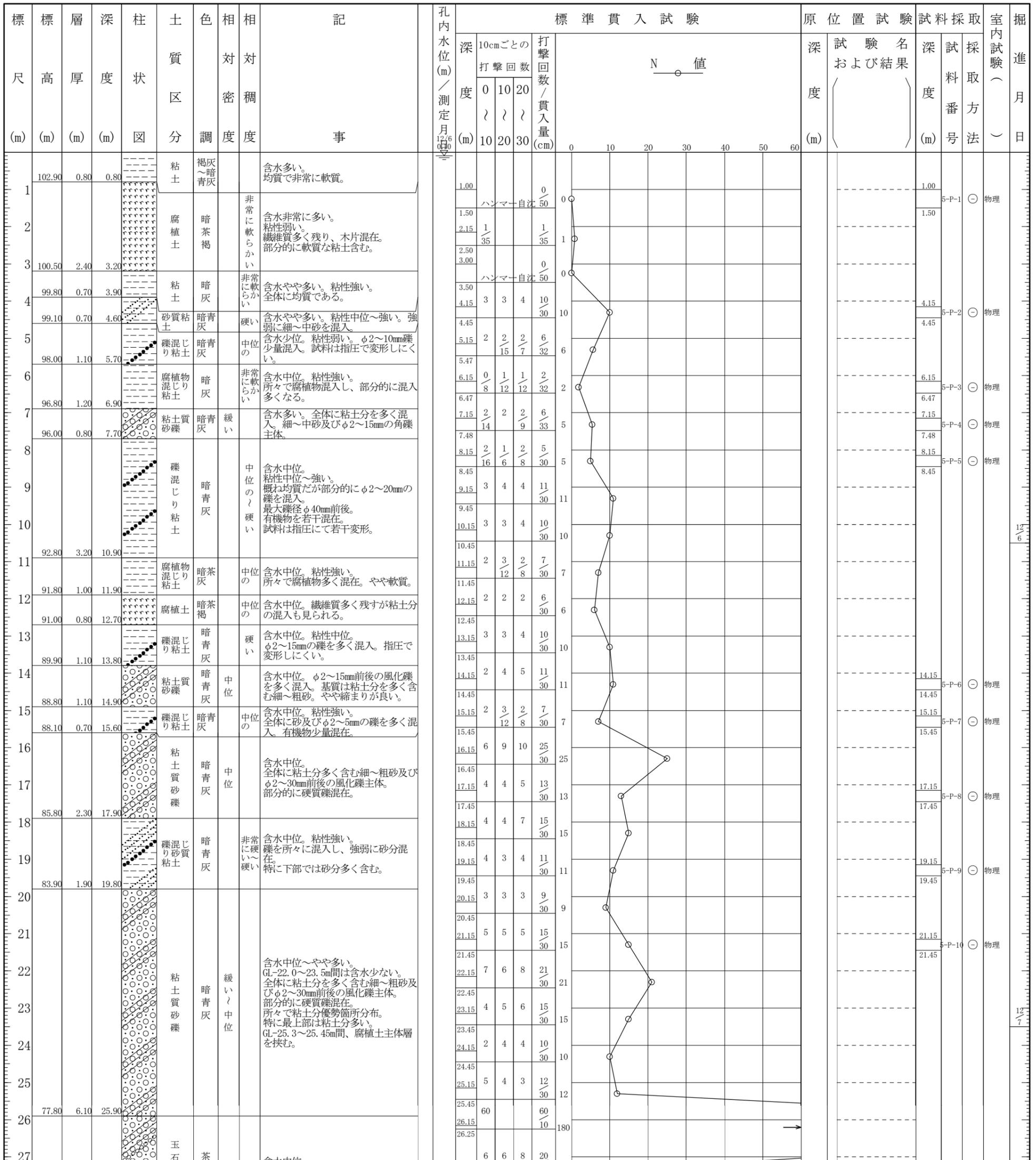
調査名 平成29年度 第231号 湖北広域行政事務センター

ボーリングNo

事業・工事名 新施設整備事業土質調査業務委託

シートNo

ボーリング名	No. 5		調査位置	滋賀県長浜市木尾町 地内			北緯	35° 26' 33.66"					
発注機関	湖北広域行政事務センター			調査期間	平成29年12月6日～29年12月10日			東経	136° 18' 8.98"				
調査業者名	日本水工設計株式会社滋賀事務所		主任技師	現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者						
孔口標高	103.70m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	東邦製 D0-DR		ハンマー落下用具	半自動モンケン	
総掘進長	35.00m	度	0°	向				エンジン	ヤンマー製 TF90V-E		ポンプ	東邦製 BG-3CR	



ボーリング柱状図

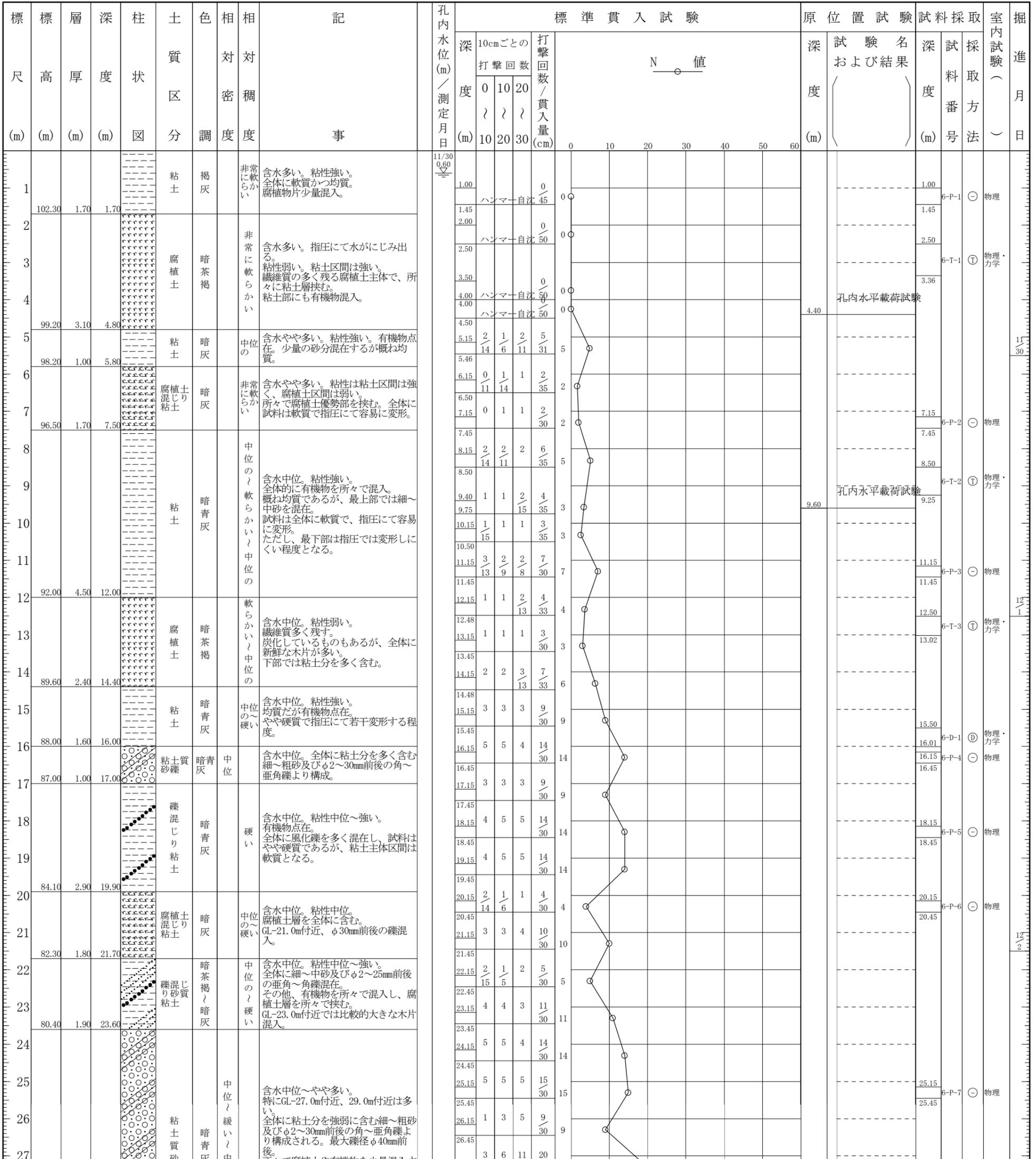
調査名 平成29年度 第231号 湖北広域行政事務センター

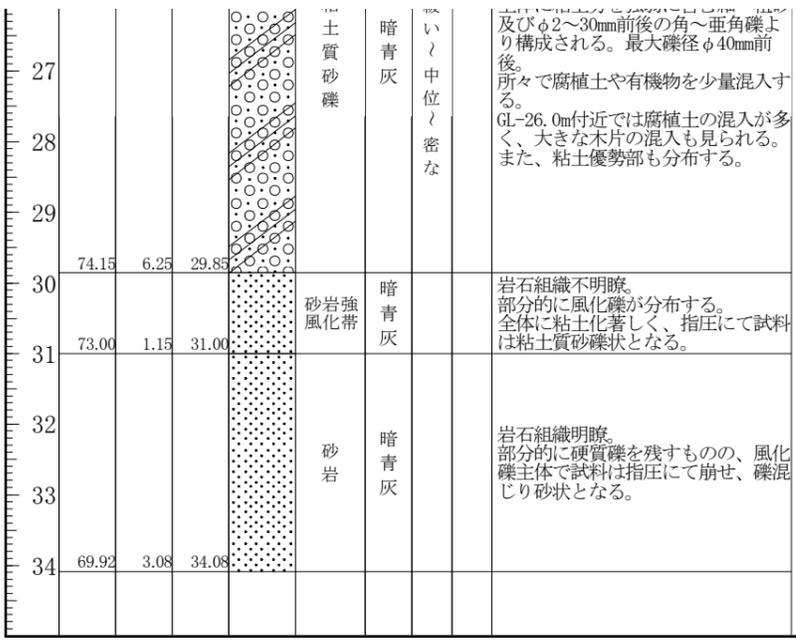
ボーリングNo

事業・工事名 新施設整備事業土質調査業務委託

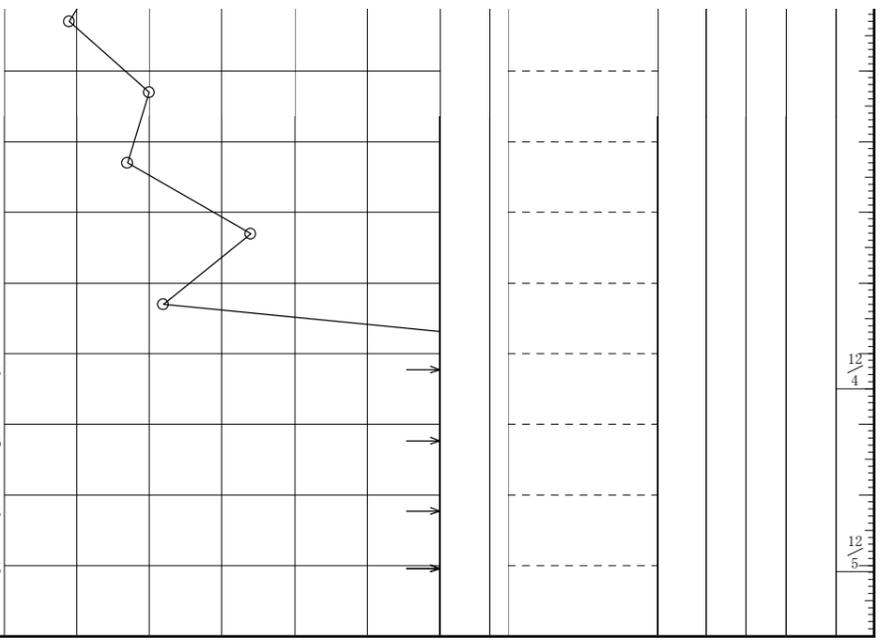
シートNo

ボーリング名	No. 6		調査位置	滋賀県長浜市木尾町 地内			北緯	35° 26' 30.95"						
発注機関	湖北広域行政事務センター			調査期間	平成29年11月30日～29年12月5日			東経	136° 18' 7.07"					
調査業者名	日本水工設計株式会社滋賀事務所		主任技師	現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者							
孔口標高	104.00m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	東邦製 D0-DR		ハンマー落下用具	半自動モンケン	
総掘進長	34.08m	度	0°	向				エンジン	ヤンマー製 TF90V-E		ポンプ	東邦製 BG-3CR		





26.45				30	9
27.15	3	6	11	20	20
27.45					
28.15	5	5	7	17	17
28.45					
29.15	9	12	13	34	34
29.45					
30.15	6	7	9	22	22
30.45					
31.15	28	32	60	16	113
31.31					
32.15	24	36	60	17	106
32.32					
33.15	28	32	60	16	113
33.31	60		60	8	
34.00	8		8		225
34.08					



12/4

12/5

ボーリング柱状図

調査名 平成29年度 第231号 湖北広域行政事務センター

ボーリングNo

事業・工事名 新施設整備事業土質調査業務委託

シートNo

ボーリング名	No. 7		調査位置	滋賀県長浜市木尾町 地内			北緯	35° 26' 28.20"				
発注機関	湖北広域行政事務センター			調査期間	平成 29年 11月 9日 ~ 29年 11月13日			東経	136° 18' 7.74"			
調査業者名	日本水工設計株式会社滋賀事務所		主任技師	現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者					
孔口標高	104.07m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	東邦製 D0-DR	ハンマー落下用具	半自動モンケン
総掘進長	21.26m	度	0°	向				エンジン	ヤンマー製 TF90V-E	ポンプ	東邦製 BG-3CR	

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験						原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験 (月日)	掘進月日				
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値												
103.17	0.90	0.90	0.90		粘土	褐灰			含水非常に多い。非常に軟質。均質な粘性土。	11/9 0.90	1.15	0	1	1	2											
102.07	1.10	2.00	2.00		腐植土	暗茶褐			含水多い。粘性は、粘性土優勢部は強い、腐植土優勢部は弱い。繊維質多く残す。		1.54	0	1	1	39			1.15	7-P-1	物理						
101.17	0.90	2.90	2.90		腐植土混じり粘土	暗青灰~暗茶褐			含水多い。粘性強い。非常に軟質。暗青灰の粘土と暗茶褐の腐植土が雑多に混じる。		2.15	0	1	1	31			1.54								
98.77	2.40	5.30	5.30		礫混じり粘土	暗青灰			含水中位~やや多い。粘性中位~強い。不規則に砂及びφ2~10mmの礫を混在。特に上~中部は混入が多く、N値は高くなる。試験はやや軟質で、指圧にて変形する程度。		3.15	2	3	5	10			4.15	7-P-2	物理						
98.27	0.50	5.80	5.80		粘土	暗青灰			含水少位。粘性弱い。均質で指圧にて若干変形する程度。		4.15	2	2	3	7			4.47								
96.47	1.80	7.60	7.60		腐植土混じり粘土	暗青灰			含水少位~中位。粘性弱い~中位。やや硬質で均質区間が分布するが、不規則にφ2~10mm礫及び腐植土を混在。部分的に粘土質砂礫状区間分布。		5.15	2	1	3	6			6.15								
94.62	1.85	9.45	9.45		腐植土	暗茶褐			含水中位。粘性弱い。全体的に繊維質多く残す腐植土。炭化しているものも見られるが、比較的新鮮な破片が多い。不規則に砂礫状区間挟む。		6.15	2	1	2	5			6.45								
93.17	1.45	10.90	10.90		粘土質砂礫	暗青灰			含水やや多い。粘土分を多く含む細~中砂及びφ2~30mm前後の角礫主体。		7.15	3	3	4	10			7.15								
91.27	1.90	12.80	12.80		礫混じり粘土	暗青灰			含水少位~中位。粘性強い。若干の有機物混在。均質区間が分布するが、不規則に粘土質砂礫状区間を挟む。砂礫状区間は、φ2~10mmの角礫及び細~中砂。		7.47	2	2	3	7			7.47								
87.07	4.20	17.00	17.00		砂岩強風化帯	暗青灰			含水少位。岩石組織を僅かに残す。風化が著しく、試験は指圧にて崩せ粘土混じり砂礫状となる。礫も風化礫化しており、指圧にて崩せる。GL-15.0~15.5m間、岩石組織明瞭となり風化軟岩状で採取。指圧にてコア形状は崩せ、礫混じり砂状となる。礫も一部硬質なものを残す。		8.15	1	1	1	3			8.15								
86.17	0.90	17.90	17.90		砂岩風化帯	暗青灰			岩石組織を多く残すが風化進行し、コアは指圧にて崩せ粘土混じり砂礫状となる。硬質礫僅かに含む。		8.45	2	2	2	6			8.45								
18.37					砂岩	黄褐~暗青灰			岩石組織を明瞭に残す。全体に風化進行し、指圧にてコア形状を崩せ粘土混じり砂礫状となる。硬質礫を混入が多くなるが、風化礫優勢。GL-19.5m付近まで茶褐色、以深は青灰色となる		9.15	4	5	6	15			9.15								
20.15											10.15	4	5	6	15			10.15								
20.27											10.45	2	2	3	7			10.45								
21.15											11.15	2	2	3	7			11.15								
21.26											11.47	4	3	3	10			11.47								